

校内研究だより#6

学校・学級に適応PT

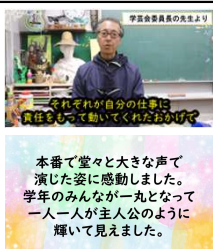
第6学年 学級活動(3) 「学芸会を通じた自己の成長」

《授業について》

11月12日水曜日、今年度6回目となる校内研究授業を行いました。今回の校内研究は、第6学年の学級活動(3) ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の育成として、「学芸会の経験を振り返り、これからの生活にどのように生かしていくのかを一人一人が考え、取り組んでいくことを決める。」ことをねらいとして授業を行いました。今回は、その様子をお伝えいたします。

①【つかむ】

「つかむ」段階は、当日の頑張りや達成感を具体的に思い出せるよう、本番に向けて練習している様子や係の様子などの動画視聴しました。また、保護者や1年生、5年生、演目担当教員、学芸会委員長の教員から、6年生の活躍を価値付けるメッセージ動画を視聴し、自身の頑張りが認められていることを実感できるようにしました。



本番で堂々と大きな声で演じた姿に感動しました。学年のみんなが一人丸となって一人一人が主人公のように輝いて見えました。

③【見つける】

「見つける」段階では、本番までの1か月間を通して、どのような力が身に付いたかを見付けられるようになりました。まずは、それぞれが思い付く身に付いた力を出し合いました。その後、出した力について、学校生活の中でどのように生かせるかをグループで話し合いました。



②【さぐる】

「さぐる」段階では、「My best 学芸会」を行いました。「My best 学芸会」とは、絵に表した学芸会を通して思い出に残ったことを伝え合うという活動です。児童鑑賞日に照明係として活動することで、他の学年の役に立つことができた経験や最後の歌を歌う場面で小学校生活最後の学芸会であることを実感して感情がこみ上げた経験など、思い思いの学芸会について伝え合いました。



④【決める】

「見つける」段階で話し合ったことを基に、「これからの学校生活で取り組みたいこと」を決め、具体的な目標をオクリンクプラス（意見共有アプリ）に入力しました。こどもの記述には、「学芸会と同じように卒業式でも、自分たちで考えてつくった卒業式にしたい。」といった具体的な取組の記述が見られました。終わりに、校長先生より入学してから心の成長や卒業に向けて期待することについてお言葉いただき、授業が終わりました。



指導・講評

- ◎ こども自身の振り返りだけではなく、動画によって保護者や下級生、教員からのメッセージがあったことは、よい手だてであった。
- ◎ 「見つける」段階では、子供の発言に対して、教師が問い返しを行い、より具体的な考えをクラス全体に共有するという対話的な学びができていた。
- △ 動画の内容はどれも価値があり、捨てるのがたいメッセージであったが、授業時間を考えると少し長く感じた。資料の精選を行うことで、さらにこどもの活動が確保され、充実していくと考える。
- △ 「見つける」段階のグループでの話し合い活動は、時間の都合もあったかもしれないが、発表会のように感じると感じる。だれかの考えに対して質問したり、共感したりするなど意見を言い合えるような時間があるとよい。
- ・ 「見つける」段階の話し合い活動は、グループごとに付けたい力を指定し、どのように生かすかを考えるという指導法もある。

つかむ

学芸会に取り組む様子や
保護者、下級生、教員からの
メッセージ動画を視聴

1か月間の頑張りや達成感を想起



さぐる

「My best 学芸会」
絵に表した学芸会を通して
思い出に残ったことを伝え合う

きめる

「見つける」段階で話し合ったことを基に、
自分が実践していくことを意思決定する

『思い出に残る学芸会にしよう』

- ◆これからの学校生活で、自分が取り組むことを決めよう。
- *どんな力を（学芸会で身につけた力・新たに付けた力）
- *どんな場面で
- *どのように生かしていくか

人の前で自信をもって話す力。
今日みんなの前で自信をもって話せたし、学芸会でも「こうした方が伝わるんじゃない？」などいろいろなことを話せた。卒業式でも先生たちに頼るのではなく、自分たちで行動して、自分たちで考えてつくった卒業式になるように、意見をしっかりとって卒業まで頑張りたいです。



学芸会委員長の先生より

それぞれが自分の仕事に
責任をもって動いてくれたおかげで

本番で堂々と大きな声で
演じた姿に感動しました。
学年のみんなが一丸となって
一人一人が主人公のように
輝いて見えました。

保護者より

見つける

どのような力が身に付いたか、
その力を学校生活の中で
どのように生かせるかを考える

